

横浜市消防局で自家発電設備の講習会が開催される

1月27日（火）、横浜市消防局（横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9）において自家発電設備に関する講習会が開催された。

横浜市消防局主催のこの講習会は、消防用設備やその非常電源として設置される自家発電設備等の検査業務に従事する横浜市消防局管内各消防署の査察実務担当者を対象にしたもので、当日は消防局4階会議室をほぼ埋め尽くす約50名の参加により行われた。

防災用自家発電設備の認証に関する登録認定機関、また、自家発電設備の専門的技術者を養成する機関としての内発協は、この講習会に賛同し、全面的に協力することで講師を派遣することになった。

講習会の冒頭、主催者を代表して横浜市消防局予防部・山田裕之^{やまだ ひろゆき}査察課長より、講習会の開催目的として、「消防職員への研修の一環として、消防用設備、中でも電気設備である自家発電設備への全般的な理解を深めるために企画した。」との説明が行われた。引き続き、内発協^{ひらの ちようじゅ}・平野長寿専務理事より、内発協の事業概要（製品認証事業、専門技術者養成事業等）の説明と、これ

ら事業活動を通じた自家発電設備の安全性・信頼性の向上を図る内発協の姿勢が表明された。

講習会は、発電設備の種類、構造及び機能等に関する基礎的内容を網羅した「発電設備の基礎」、設置に際し必要な発電設備に関する「接続図と出力算定」、更に発電設備の設置後の「不具合事例・安全対策」の3テーマについて、内発協職員3名がテーマごとに分担し、パワーポイントを用いて行われた。講習終了後、若干の質疑応答があり、盛況のうちに終了した。

今回、内発協では横浜市消防局からの依頼により講師を派遣したが、今後も自家発電設備に関する講習会に関し、他の消防機関から講師派遣の協力依頼がある場合は、積極的に応じることにしている。